

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
東京電子専門学校		昭和51年10月1日		新休 能士		〒170-8418 東京都豊島区東池袋3-6-1 (電話) 03-3982-3131	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人電波学園		昭和30年9月27日		山口 広泰		〒170-8418 東京都豊島区東池袋3-6-1 (電話) 03-3982-3131	
目的	臨床工学技士の国家資格を取得し、病院で医療機器の操作、点検などチーム医療の一員として活躍できる基礎力、応用力を身につける。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
医療	医療専門課程		臨床工学科		平成6年文部省告示第84号	—	
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2820	2140	660	720	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		200人		7人	35人	42人	
学期制度	■前学期:4月1日～9月30日 ■後学期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A(100～80)、B(79～70)、C(69～60)、試験、レポートの評価		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月22日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月20日～4月10日			卒業・進級条件	卒業条件 全科目受講・全単位取得 進級条件 2/3以上の出席があり、規定単位を修得した者		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 早い内に学生、保護者への連絡を行い、面談を行っている			課外活動	■課外活動の種類 セミナーへの参加 ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 病院、クリニック ■就職率 ^{※1} : 96.5% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 93.2% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等	臨床工学技士、第2種ME技術実力認定試験、第1種ME技術実力認定試験、甲種危険物取扱者		
中途退学の現状	■中途退学者 14名 ■中退率 4.5% 平成28年4月1日 在学者 221名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 207名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更(14人の内、5名は他の科へ転科) ■中退防止のための取組 臨床工学技士を理解するため、1年夏休みに病院見学を実施。成績不良者には補講実施。また、早期に面談を行い、学習方法などの指導の実施。						
ホームページ	URL://www.tokyo-ec.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

学内での教育において、基礎的・専門的な能力を身に付け、臨床工学技士の重要性を理解し、現場での実習において、患者への対応も含め、実務を体験し、実践能力を身につけることができる。また、多くの種類の医療機器を経験することができ、最新の技術を修得できる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

※当委員会は診療放射線学科、臨床検査学科、臨床工学科の3科共通の委員会です。

平成29年4月1日現在

名前	所属
吉田 隆	株式会社サンリツ 取締役
谷道 清隆	社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院 内視鏡室 技師長
松金 隆夫	一般社団法人 千葉県臨床工学技師会 副会長
田中 美次	株式会社 ホリスティックホールディングス 代表取締役
荒川 静司	医療法人社団東光団 戸田中央総合病院 臨床工学科 科長
伴場 次郎	東京電子専門学校 副校長
塚田 敏彦	東京電子専門学校 臨床検査学科 学部長 副校長
尼崎 朝子	東京電子専門学校 臨床工学科学部 学部長
山口 勝広	東京電子専門学校 学園本部 副本部長
山口 真弘	東京電子専門学校 学園本部 総務部副部長

(開催日時)

第1回 平成28年3月18日 15:30～17:00

第2回 平成28年10月14日 16:00～17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

臨床工学技士指導要領に沿ったカリキュラムを実践し、臨床工学技士としての基礎的な能力を身に付け、医療における臨床工学の重要性を理解し、かつ患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚する。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	血液浄化業務、集中治療室業務、手術室業務、医療危機管理業務について臨床現場で責任と役割を自覚する	平成28年度21施設 厚生労働省認可 36施設

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- ・民間企業での研修(派遣型)を通して、民間企業の現状を知り、必要とされる人材等についての動向を得るなど、外部で無いと分からない、体感できないことに対して積極的に取り組むよう努めている。
- ・外部の技術セミナー等に参加をし、現在の技術動向の習得に努めている。
- ・外部の所謂教え方に関するセミナーや研修会に参加をし、授業の質の向上、学生がより興味を持てる授業の実施が出来るよう研鑽をしている。
- ・必要に応じ、企業から講師を招いて最新技術や需要の高い技術に関連するセミナーを開催している。
- ・学期ごとに学生による「授業アンケート」を実施し、校長室より個々の教員に結果を示した上で改善点を指摘し、よりよい授業となるよう改良・改善に努めさせている。
- ・「公開授業」という形で、評価の高かった教員の授業を参観させ、個々の授業の参考とするようにしている。なお、公開授業は学内の教員だけではなく、非常勤も対象としており、その中には企業から派遣されている講師なども含まれる。
- ・学内規定である「研修等に係る諸規定」に基づき、計画的に教員の研修を行っている。具体的には、主な研修期間である長期休暇期間の前に各教員は研修計画を校長室に提出し、研修先や研修期間、その予想効果を審査している。また、長期休暇期間後は研修結果の提出を必須としている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)※当委員会は全学科共通の学校で1つの委員会です

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
岡本 真梨子	株式会社エスキャリア 執行役員
喜多村 貞一	エーアイテクノロジー株式会社 代表取締役 情報関連企業代表
松金 隆夫	(一社)千葉県臨床工学技士会 副会長 臨床工学技士(国家資格) 診療放射線技師(国家資格)
吉田 隆	株式会社サンリツ 取締役 臨床検査技師(国家資格)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.tokyo-ec.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程臨床工学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			心理学	生命倫理や人の尊厳を理解し、医療人としての心構えを学習します。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			経済学	理論的思考力を育て、社会人として見識を広め、人間性を磨きます。	1年前期	30	2	○			○				○
○			基礎数学	工学の履修に必要な基礎数学、特に三角関数や指数関数、複素数を中心に学習します。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			物理学	生体现象、医療機器の原理を理解する上で必要とされる物理学を学習します。	1年前期	60	4	○			○			○	
○			化学	化学の基礎を理解し、臨床生化学へと関係を深めます。	1年前期	30	2	○			○				○
○			生物学	ライフサイエンスの基礎としての生物学を学習します。	1年前期	30	2	○			○				○
○			英語	医学や科学の専門書等を理解できるよう基礎から学習します。	1年前後期	60	4	○			○				○
○			保健	疾病、負傷の予防や、健康保持・増進について学習します。	1年前期	15	1	○			○				○
○			体育	学習指導の能率をあげ、健全なる心身を育てる実技について実習します。	1年前期	45	1			○	○				○
○			人の構造と機能	人体の構造、特に各器官、組織、細胞の形態、および生理的機能について学習します。	1年・2年前期	120	8	○			○			○	○
○			臨床生理学	病気と生理機能の関連、心電図、脳波、呼吸機能検査、筋電図などを学習します。	1年後期	30	2	○			○				○
○			基礎医学実習	生体の基本的な仕組みを、構造と機能、生化学、病理学の実習を通して学習します。	1年後期	45	1			○	○			○	

○		医学概論	医学の歴史、医療技術の発達、医療従事者の倫理について 学習します。	3 年前期	15	1	○					○					○	
○		病理学総論	病気の原因とそれに対する生体の反応、病気の経過等を学習します。	1 年後期	30	2	○					○					○	
○		公衆衛生学	健康の保持、予防医学の重要性の認識に必要な公衆衛生を学習します。	3 年前期	15	1	○					○				○		
○		臨床生化学	生体物質の構造と代謝、臨床での化学的検査法について学習します。	1 年後期	30	2	○					○					○	
○		臨床免疫学	免疫のしくみ、免疫に関係する疾患、移植免疫、輸血などについて学習します。	2 年前期	30	2	○					○					○	
○		臨床薬理学	人体と薬の関係、臨床で使用される薬剤の特性、適応性について学習します。	2 年後期	30	2	○					○					○	
○		看護学概論	患者に接するにあたって要求される基本的態度、考え方について学習します。	3 年前期	30	2	○					○					○	
○		応用数学	微分積分の基礎から応用、フーリエ変換、ラプラス変換などを学習します。	1 年後期	30	2	○					○					○	
○		電気工学	電界、電流、電流と磁界、直流回路、交流回路、過渡現象などを学習します。	1 年前後期	120	8	○					○					○	○
○		電気工学実習	電気と磁気の基礎、直流回路、交流回路などを実習します。	1 年後期	45	1						○	○				○	○
○		電子工学	半導体、アナログ回路、デジタル回路、通信、光電子工学などを学習します。	1 年前後期	60	4	○					○					○	○
○		電子工学実習	半導体素子の特性、各種増幅器、デジタル回路、光電素子等の基礎的実習を行います。	2 年前期	45	1						○	○				○	○
○		機械工学	機械力学、生体の力学、流体力学、生体における流れ、超音波、熱力学、機械要素など医用機械工学の基礎を学習します。	1 年後期	30	2	○					○					○	
○		システム工学	臨床工学に必要なシステム理論、信号理論、制御理論の基礎を学習します。	2 年前期	30	2	○					○					○	
○		情報処理工学	コンピュータの原理、ソフトウェア、数値計算アルゴリズム、デジタル信号処理などを学習します。	1 年前後期	60	4	○					○					○	
○		システム・情報処理実習	波形とスペクトル、システム応答のシミュレーション、プログラミングなどを実習します。	2 年前期	45	1						○	○				○	

○		放射線工学	放射線と生体の相互作用、放射線の医学への応用、放射線同位元素、放射線治療、安全管理などを学習します。	3 年前期	30	2	○			○				○	
○		生体物性工学	生体の構造、生体における輸送現象、生体の電気・力学・熱・光学各特性、生体の制御などを学習します。	2 年前期	30	2	○			○				○	
○		医用材料工学	生体と人工材料、生体適合性、金属材料、高分子材料、セラミックスなどを学習します。	3 年前期	30	2	○			○				○	
○		計測工学	計測論、生体計測の特徴、生体信号の処理など計測の基礎を学習します。	1 年後期	30	2	○			○				○	
○		医用機器学概論	機器の人体への適用、生体計測監視装置・治療機器・生体機能代行装置等の構成と原理、およびそれらの臨床的意義を学習します。	1 年前後期	30	2	○			○				○	
○		治療機器学1	治療機器概論、電氣的治療器、機械的治療器、手術用機器等の原理、安全対策などを学習します。	1 年後期	30	2	○			○				○	
○		治療機器学2	電気メス、ペースメーカー、カテーテルアブレーション装置、心・血管系インターベンション装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、レーザーメス、内視鏡などの治療について学習します。	2 年前期	30	2	○			○				○	
○		治療機器学実習	治療機器の保守管理、安全点検、性能点検などを実習します。	2 年後期	45	1				○	○			○	
○		生体計測装置学	生体電気現象計測器、生体物理化学現象計測器、医用画像機器、検体検査機器などの原理を学習します。	2 年前後期	30	2	○			○				○	
○		生体計測装置学実習	生体計測装置の取り扱い、保守、性能点検の技術を実習します。	2 年後期	45	1				○	○			○	○
○		体外循環技術学	人工心肺装置、補助循環装置等の原理と構造、実際の治療法などを学習します。	2 年前期	60	4	○			○				○	
○		体外循環技術学実習	体外循環装置の取り扱い、保守点検の技術などを実習します。	3 年前期	45	1				○	○			○	
○		呼吸療法技術学	人工呼吸器、高気圧治療装置等の原理と構造、実際の治療法などを学習します。	2 年前後期	60	4	○			○				○	
○		呼吸療法技術学実習	呼吸療法装置の取り扱い、保守点検の技術などを実習します。	2 年後期	45	1				○	○			○	○
○		血液浄化療法技術学	血液透析装置、他の血液浄化装置の原理と構造、実際の治療法などを学習します。	2 年前後期	60	4	○			○				○	

○		血液浄化療法技術学実習	血液浄化療法装置の取り扱い、保守点検の技術などを実習します。	2 年後期	45	1				○	○						○
○		医用安全管理学	各種エネルギーの安全基準、電気的安全性の測定、安全管理技術、医用ガスの安全などを学習します。	2 年前後期	60	4	○				○						○
○		医用安全管理学実習	医用機器の電気的安全性の測定、定期点検、検査等の技術を実習します。	3 年前期	45	1					○	○					○
○		関連法規	医療全般の法規、臨床工学技士として必要な法令等を学習します。	3 年前期	15	1	○				○						○
○		臨床医学総論1	循環器病、感染症などの疾患について学習します。	1 年後期	30	2	○					○					○
○		臨床医学総論2	内化学概論、外科学概論、呼吸器病、消化器病、代謝器病、腎泌尿器病などの疾患について学習します。	2 年前後期	90	6	○					○					○
○		臨床医学総論3	脳・神経病、血液病、麻酔医学、集中治療医学、手術部医学などの疾患について学習します。	3 年前期	30	2	○					○					○
○		臨床工学関連演習2	臨床工学としての医療系および工業系のポイントについて学習します。ME2種対策。	2 年前後期	60	2					○						○
○		臨床工学関連演習3	国家試験対策、ME2種対策としての演習です。	3 年前後期	450	15					○						○
○		臨床実習	医療における臨床工学の重要性を理解し、患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目的とします。	3 年前期	225	5						○					○
合計					53	科目	2865 単位時間(142 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件 全科目受講し、履修すること。履修方法 試験(中間・学期末試験)の実施。一部、実習ではレポート評価 (留意事項)		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	1 5 週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。